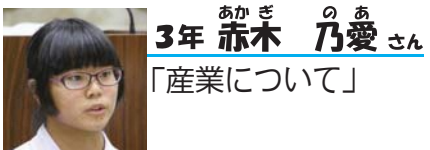


度島中学校



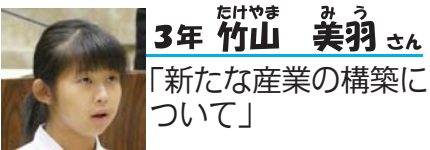
3年 角野小真知さん 「産業について」

Q 今後も農業・漁業を持続させるためにも、若者へのサポートが重要。現状と今後のサポートは？
A 関係機関と連携し、技術研修の場の設定やその後のフォローアップ、研修期間中の生活資金の支給などを行なっている。今後も一人でも多くの若者に就業してもらえるよう、産地と一体となって新規就業者を育てていく取り組みを推進していく。



3年 赤木乃愛さん 「産業について」

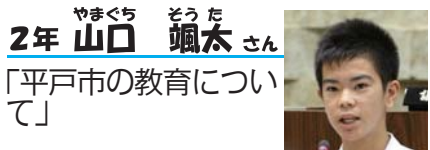
Q 平戸産品のブランド化事業について、どのようなことに取り組んでいるか。
A 首都圏、関西圏、福岡都市圏でアンテナショップや公認飲食店の開設、総合デパートでの観光物産展など、平戸の知名度向上や販路・取引拡大を図れる取り組みを行なっており、地元生産者や加工業者などの所得向上にもつながっている。



3年 竹山美羽さん 「新たな産業の構築について」

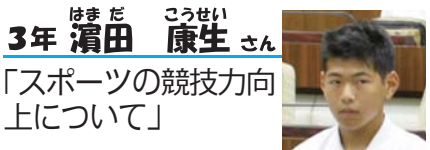
Q 雇用機会拡大のために行なっていることは？将来、ビジネスを始める場合、市から何らかの支援はあるか。
A 地場企業の設備投資の促進や市外から優良企業を誘致し、雇用機会の拡大を図る。新たにビジネスを始める際には、商工団体などと連携し、専門家を招いての勉強会や個別創業相談会を実施。操業する際に必要な資金の一部補助を行なっている。

平戸中学校



2年 山口颯太さん 「平戸市の教育について」

Q 学力向上のために、生徒が理解しやすい環境整備が望まれる。どう取り組もうとしているのか。
A ICT教育環境の整備やイングリッシュ・タウン事業など独自政策を交え、学力向上を目指している。全国調査では、市内半数の学校が県の平均を上回っている。全体を良くするためにも、皆さんが中心になって高め合う雰囲気を作ってもらいたい。



3年 濱田康生さん 「スポーツの競技力向上について」

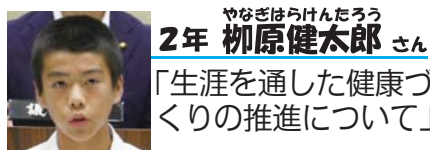
Q 全国レベルの選手育成のために、どのような方策を考え、実行しているのか。
A 生徒数の減少により部活動の維持が大変なところもあるが、活躍する選手もいるので、現状を伸ばす支援を考えている。そのために、レベルの高い相手との対戦機会の創出、指導力の向上、全国大会など遠征を後押しする補助制度を推進する。



3年 岸泰さん 「スポーツの競技力向上について」

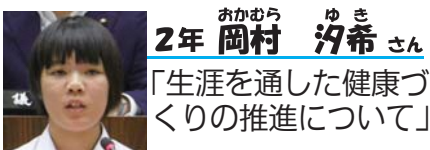
Q 市全体の競技力向上のために、優れた指導者を誘致したり、技能向上を図れる企画を考えていないのか。
A 本市のスポーツを推進する組織として、平戸市体育協会がある。競技団体によっては、大会の企画運営や外部コーチなどの指導者を見つける手助けも行なっている。選手自らがメリハリを持って取り組める環境整備を支援していきたい。

中部中学校



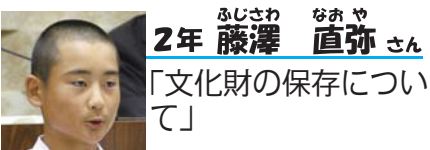
2年 柳原健太郎さん 「生涯を通じた健康づくりの推進について」

Q メタボの該当者が男女ともに県内の市町村で第1位であった。市民もこの状況を知らないはず。周知すべき。
A メタボ状態は痛くもかゆくもなく、改善に関心を持たせることが難しい。昨年、広報ひらどで特集を組み、健康づくりの取り組みについてお知らせした。出前講座や各地区の健康づくり推進員さんと協力し、健診の大事さをもっと伝えていきたい。



2年 岡村汐希さん 「生涯を通じた健康づくりの推進について」

Q メタボになる前に、市民一人一人が生活習慣を見直したり、健康意識を高める取り組みを考えては？
A 平戸市の健康診査の受診者は、平成29年度で3,892人、受診率は55.7%と県内の市では1位であった。土曜日・日曜日の休日健診や、夜間健診も行なっているので活用してもらいたい。皆さんも「早寝早起き朝ごはん」で、ぜひ規則正しい生活を。



2年 藤澤直弥さん 「文化財の保存について」

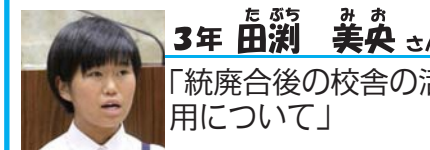
Q 今回世界遺産に登録された場所だけでなく、平戸には関連する場所が多くある。どう守っていくのか。
A 神聖な場所での振る舞い方を知らないであろうことに着目し、観光客に文化財の価値や見学マナーを伝える取り組みを進めている。地域の宝に触れてもらうことで、自分のまちを誇りに思うことにもなる。適切な活用で、宝を未来につなげていく。

中学生が市政を問う！平成30年度平戸市子ども議会開催



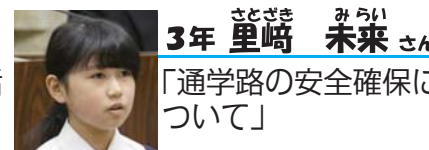
8月10日（金）、平戸市議会議場で「平成30年度平戸市子ども議会」を開催しました。本年度より市内の中学校を2つのグループに分け、今年度は5校の中学校から各3人が学校代表として一般質問を行いました。子ども議員の皆さんは、最初は緊張した面持ちでしたが、一般質問が始まると堂々と登壇し、素晴らしい議論を繰り広げました。

南部中学校



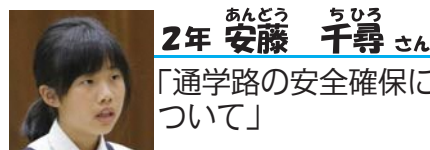
3年 田淵美央さん 「統廃合後の校舎の活用について」

Q 統廃合後の堤・中津良小学校の校舎の活用について、「学校跡地利用検討協議会」ではどのように話が進んでいるか。
A 協議会からはさまざまな意見がある。教育委員会では、全国の廃校活用の成功事例などを紹介している。跡地利用については、土台づくりが重要であるため、地元協議会の意見を優先し、有益な施設利活用となるよう協議を重ねたい。



3年 里崎未来さん 「通学路の安全確保について」

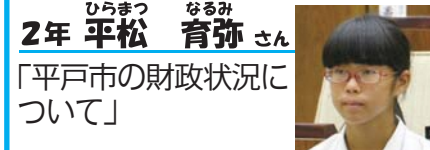
Q 通学路の防犯灯が少ない、歩道が少なく、道路の路肩に草が生い茂り危険との声を聞く。市の対応は？
A 防犯灯は自治会長からの申請により市が補助して設置している。夜道を一人で歩かないなど危険を回避する意識を持つことも重要。歩道の新設は事故が多い箇所など現場の状況を見て検討。草などが生い茂り危険な場所は、現場確認後対応する。



2年 安藤千尋さん 「通学路の安全確保について」

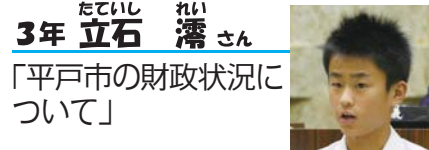
Q 南部地区には空き家が多くあり、通学路には今にも壊れそうな空き家もあり危険だ。市の対応は？
A 通学路付近の危険な空き家は数年前から所有者に指導している。また、所有者が不明の場合や管理拒否の空き家は、網かけなどの飛散防止や落下防止対策を行なっている。今後も地域と一体となり、安全・安心な協働のまちづくりに努める。

生月中学校



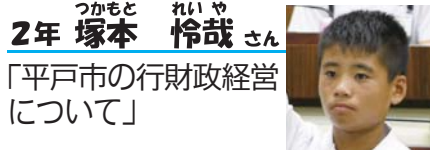
2年 平松育弥さん 「平戸市の財政状況について」

Q 平戸市が夕張市のように財政破綻した場合どうなるか。そうならないために私たちにできることは？
A 市民税・水道料金の引き上げ、公共施設の廃止や市の裁量で予算を編成できなくなる。中学生の皆さんには、公共施設の備品などを大切に使い、また、学業に専念し、将来の平戸市を担う人材として十分な知識を身につけてほしい。



3年 立石滯さん 「平戸市の財政状況について」

Q 現在の平戸市の財政状況など、過去10年との比較や今後10年の見通し、県内市町との比較について。
A 財政健全化に積極的に取り組んでおり、財政状況は良好。今後10年は、現時点では人口減少などにより税収などが減少し、予算規模も縮小されると考える。本市の財政は他市町と比較すると厳しい状況であり、今後も一層財政健全化に努める。



2年 塚本怜哉さん 「平戸市の行財政経営について」

Q 現在の平戸市の行財政運営は具体的にどのようなものか？
A 現在、行財政運営は良好だが、人口減少が続く今後を予測すれば大変厳しい状況にある。財政収支の均衡を保つため、平戸市財政健全化計画・第2次計画を策定し、平成29年度から5カ年の改善目標額を5億円減額と定め、最終的な目標数値を達成するための取り組みを推進している。